

# ぼれぼれ 通信



物価高騰の波が  
給食費にも！

9・10月号  
vol.66

○、歳末歳初の歳暮に止む学校給食費の実況負担への影響が大きくなることが懸念されている。これを受け、学校給食費に関する負担緩和につづいては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による支援が対象となったところであるが、コロナ禍が続く中において、今後のウクライナ情勢により、物価高騰等に対する緊急対策の緊急性や必要性が高まっている。そのため、自衛隊が学校給食費の負担緩和のための支援に必要な経費を確保できるよう、当該交付金の拡充を検討することとともに、その積極的活用を自治体に強く要す必要があります。

## 今後の総合的な方面について

複数の課題である学校施設の老朽化対策等の施設整備に遅れがないよう、ウクライナ情勢に伴う建築資材の高騰等の影響について引き続き注視し、必要に応じて、所要の対策を検討すべし。

は宝」である。「新しい資本主義」の実現に向けては、「人資」は重要な柱の一つと位置づけられており、その中に教員ひとり盛り込む必要がある。学校における働き方改革とともに、教職員の確保についても必要な施策を検討すべし。

活動の回復を運びることはもとより、その先の更なる向けて、我が国の成長のエンジンとなり、安全安心する科学技術・イノベーションについて、若手研究者・先端科学技術の戦略的推進等、所要の対策を検討

# 山本文科部会長の 発案で給食費の 値上げを抑制!!

3月31日、文部科学省の大臣官房の職員と自民党政務調査会の文科担当職員が、山本ともひろ国会事務所に大挙して集まってきた。内容は、コロナ禍における原油価格・物価高騰総合緊急対策を政府が打ち出したことになったので、文部科学政策の分野においてどのように対策を打ち出すべきか自民党

文部科学部会長である山本に相談しに来たのである。但し、文科部会として意見を取りまとめて政府に申し入れるのは、緊急といふこともあり、考える期限は一週間にしかなかった。そこで山本は、党政調職員に「すぐに文科部会を開催し、多くの議員から意見を聞こえ」と提案したが、職員から「今

が値上げされたりすることも想定されたりと緊急をしつかりと緊急

回の緊急対策にマッチする文部科学分野の対策が見受けられないのでもうい意見を聞くのは、よろしくないと思います」とやんわりと拒否されてしまった。同席していた文科省の職員も「実は、今回の緊急対策は、文科省としては対象となるものが無く、あまり芳しくなく、」と言い出し、重い空気には包まれた。「そんなはずはない! 原油価格の高騰で食料の値段も上がっている。それが影響して給食のおかずが減つたり、給食費



▲文科省、党政調の職員達との協議

対策に盛り込めばいいんだ。せつかく政府が予算も準備して何か対策はないか?と聞いてくれているのに文科分野は特にありませんなどと答えるつもりなのか!」と山本は語気を強めたが、文科省の職員は、「しかし、今回の緊急対策は臨時交付金になるので給食費に充てるのは馴染みません」と返答してきた。埒<sup>らち</sup>が明かないので山本は、「分かった。みんながそう言うのであれば、部会は開かないことにする。但し、部会も開かず、誰の意見も聞かずに、文科分野は何もありません、と答えることは認められない。従って、文科部会の役員を集めて正副部会長会議を開いて、少なくとも部会の役員の議員からは意見を聞くことにする」とした。

## 給食費の意見提出 文科部会が決定

4月5日、自民党本部に文科部会の役員が集まり正副部会長会議が開かれた。役員から様々な意見が出された。主なものは、建築資材が高騰しており学校施設の老朽化対策など施設整備への対策、経済対策の先を見据え、若手研究者の活躍促進や先端科学技術の戦略的推進などであった。正副部会長会議の議事進行を行つていた山本は、役員全員の意見を聴取した後に最後に自らの意見も述べた。「誰からも給食費の問題が出ませんでしたが、現在の物価高騰で食材費が上がり、おかげの量が減るなど大変な状況なので、食材費や給食費の値上げに備えた対策が必要と考えますが、みなさん、どう思われますか?」と山本が発言すると役員から異口同音に賛同意見が出された。また役員からは、山本と同様に部会を開いて多くの議員からも意見を聞くべきだ、との意見も出た

が、山本から前述の経緯を説明するとともに政府に意見を出す締め切りが、もう明日に迫つてることも伝え、納得してもらつた。

結果、緊急対策に対する文部科学部会の意見として、先ず食材費の高騰による学校給食費の家計負担軽減、そして、今後の方策として建築資材の高騰による学校施設整備への対策、若手研究者の活躍促進や先端科学技術の戦略的推進や新しい資本主義の実現に向けて人への投資として教職員の確保などを掲げた。

## 周到な準備も 政策実現に必要

しかし、山本には、まだ懸念があつた。それは、本当に正しく緊急対策の予算が学校給食費へと回されるか、であつた。今回の総合

緊急対策に文科省の職員が、前向きでなかつた原因でもあるが、対策は臨時交付金として全国の地方自治体に交付される。実は、この臨時交付金は、給食費対策だけではなく他の分野の原油価格・物価高騰対策のものも含まれており、その全ての趣旨に沿つていれば、何に使うかは地方自治体の裁量に任せられている。従つて、その市町の市長や町長などの政策的な優先順位によつては、せっかく給食費対策のために盛り込んだ予算であつても他の対策に回されることも十分に考えられるのである。そこで山本は、文科省に政府から総合緊急対策が発表されたら間髪入れずにおよそ100億円を予算に組み、各都道府県知事などに、今回の総合緊急対策には給食費のために予算を盛り込んでいるので、関係部局と緊密に連携し、学校給食の保護者負担の軽減に向けた取り組みを進め

るようになつて、通知を出すように依頼をした。その通知が功を奏したのか今回は、交付金ではあるが、着実に給食費対策に回され始めている。

決めており、二学期以降に向けて検討する。中学校の学校給食費について、値上げを行わない。中学校はミルク給食のみで、現状値上がりはしていない。読者の皆様の周りで、給食費が値上がったなどの声を耳にしたら、是非、山本ともひろ事務所までご一報を。それは、臨時交付金を正しく使わずに保護者に負担を掛けている証左であり、今回の発案者である山本が適切に対応を取ります。

馴染まない政策も  
決めの問題で解決

さて、賢明な読者であれば、では、交付金のよつたな地方自治体に裁量のある予算にせずに国として直接これは給食費への予算です、給食に使って下さい、とすればいいじゃないか?と思われたのではないだろづか。実は、そもそも山

本が給食費対策に予算を付けようと言った際には、文科省の職員が、あまり良い顔をしなかつた原因がそこにあるのである。学校給食法には、学校の設備や人件費と言つた運営に関するコストは、学校設置者の負担、つまり公立であれば、自治体の負担で、それ以外は保護者負担と明記されている。従つて、文科省的発想でいくと、学校給食は、学校設置者(自治体)と保護者の協力で成り立つといふ。結果、文科省としては、給食に対する国独自の補助事業は成立しないと考えているのである。つまり、給食に対して直接国が行うのは想定しづらい、と言う訳だ。加えて、義務教育段階においても



▲党文科部会、正副部会長会議

学校給食の実施率は100パーセントではない。従つて、国が税金で直接的に学校給食費の家計負担軽減に乗り出せば、学校給食の無い地域の保護者・納税者からすれば、不公平感が出ることは否めない。中央省庁の役人としては、不公平であることが事前に予想される事柄に積極的に税を投入しようと思はないのである。そこは、まさに決めの問題であり、今回は政治の決めの問題であった。

政府への意見提出締切日の4月6日に、山本は、官邸に連絡をし、文科部会としては給食費の対策を打ち出すので、しっかりと受け止めで欲しいと事前に一報を入れたところ、官邸からは、「それはしっかりと対応しますが、肝心の文科省がまだゴニヨゴニヨ言つてますよ」、と言われ、返す刀で文科省に連絡し、「官邸にも根回し

を済ませ、問題ないからしつかり推し進めるように」と更に念押しを行つた結果、4月26日の関係閣僚会議で決定した「ロナ禍における原油価格・物価高騰総合緊急対策には、学校給食の負担軽減が盛り込まれた。総合緊急対策の中には、地域の実情に応じ、これまで通りの栄養バランスや量を保つた学校給食が実施されるよう、臨時交付金を活用し、物価高騰に直面する保護者の負担軽減に向けた自治体の取り組みを強力に促し、必要な支援を迅速に行う、と明記された。それを受け、全国の地方議会において6月に行われる、いわゆる6月議会において臨時交付金の使い方が議論をされている。7月末の臨時交付金実施計画の提出締め切り時には、多くの地方自治体から学校給食費の家計負担軽減を盛り込んだ計画が提出されることを期待したい。



# 会議室を一般開放しています

事前予約のみで会議室が使用できる!

JR鎌倉駅(西口)の目の前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの事務所だけでなく、会議室として一般開放を行っています。事前のご予約のみでご利用いただけるので、地域や町内の活動のための会議などにぜひご活用ください! また、定期的なご使用や、商業目的のご使用の場合は、別途ご相談いただければと思いますので、まずはお気軽に下記山本ともひろ事務所までお問い合わせください。

※公職選挙法の関係で、無料で開放することができないことから、使用料をいただきますこと、ご了承ください。



▲自由民主4区会館の外観



▲第1会議室



▲第2会議室

## 自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料	
第1会議室 (定員15人)	午前9時～12時	1,000円
	午後13時～17時	1,000円
	夜間18時～22時	1,000円
第2会議室 (定員15人)	午前9時～12時	1,000円
	午後13時～17時	1,000円
	夜間18時～22時	1,000円

## ■山本ともひろ事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F

TEL.0467-39-6933



# 駅で「ぽれぽれ通信」をお配りしております 駅頭活動報告

7月前半は、朝の駅頭活動は参議院選挙の応援をしました！

「応援してます！」「自民党頑張ってよ！」多くの方にエールを頂きました。誠に有難うございました！

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞄と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



### 前回の「ぽれぽれ通信」配布数

7月・8月集計分

駅名	7月	枚数	8月	枚数	前月比
逗子駅				—	—
逗子・葉山駅				—	—
鎌倉駅(東口)				—	—
鎌倉駅(西口)				—	—
大船駅(西口)				—	—
大船駅(モノレール口)				—	—
大船駅(東口)				—	—
大船駅(笠間口)				—	—
本郷台駅				—	—
港南台駅				—	—
	7月配布合計		8月配布合計	—	—

7月前半は参議院選挙の駅頭活動の応援、7月後半～8月はコロナ感染者増加により駅頭は控えました。

簡単にアクセスできます！

Twitter facebookは本人がやっています

専用のアプリをダウンロードして右のQRコードを読み取りください。(iPhone除く)



Twitter



Facebook



HP

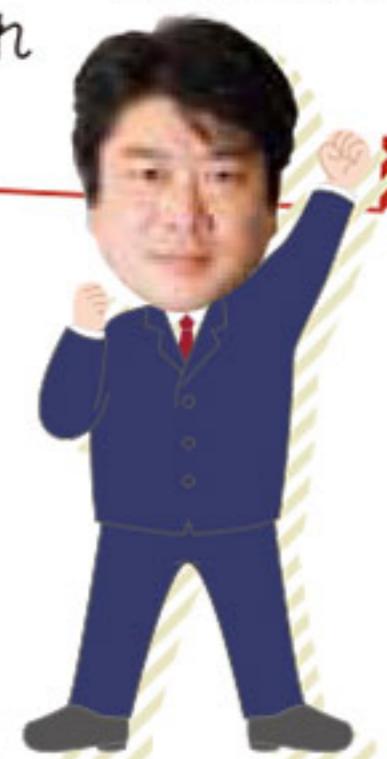
# 山本ともひろプロフィール

## 経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 令和3年 自民党 文部科学部会長 就任

自由民主党  
衆議院議員(5期 13年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)  
昭和50年(1975年)生まれ  
47歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

## 国会見学案内実施中!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。

## ぽれぼれ通信って何?



「ぽれぼれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



## 山本ともひろ事務所リスト

### 本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F

TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

### 国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室

TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和4年(2022年)9月1日発行 第66号

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。  
またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。